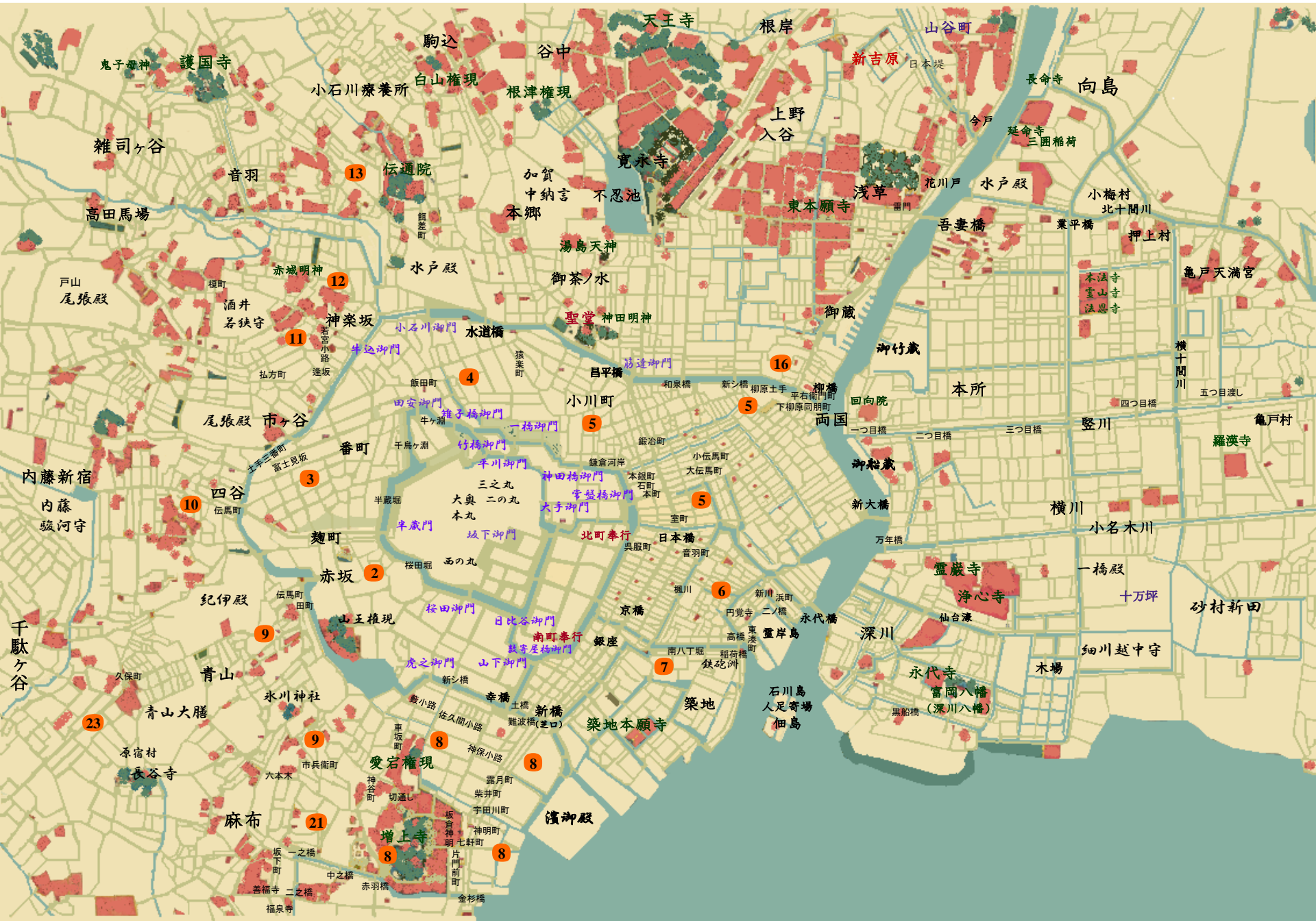


英泰伯佐 善追 舞の死・13命密



かなすぎそうざぶろう
金杉惣三郎（浪人 元相良藩江戸留守居役） — しの（妻）、結衣（娘）

あやめ（亡き妻）、清之助（息子）、みわ（娘）

せいぞう
長屋：勢三（豆腐屋）、うおつね
魚常 常吉（魚屋） — おつぎ（女房）

やおきゆう
八百久 久五郎（八百屋）

こうじんやきはち
荒神屋喜八（火事始末御用）

まつぞう
松造（小頭） — お由（元ととやの女中）

とめ（人足） — こんろく
権六（亡き亭主）、よしきぶろう
芳三郎（三男）

かんあみぜんべえ
冠阿弥膳兵衛（芝神明の札差） — さき（女房）、じいちろう
治一郎（息子）、ちゆうぞう
忠蔵（番頭）

とうごろう
め組 登五郎（芝蔦若頭） — おきょう
杏（女房 冠阿弥の娘）、半次郎（息子）

たつきち
辰吉（源助町蔦の総頭取） — つや（女房）

さんじ
三次（蔦）、しょうへい
昇平（蔦）、まとい
新太郎（纏持ち）、弘吉

まんさく
万作（昇平の友 芝浦の漁師）

いわみてつたろうなりむね
石見鏡太郎成宗（一刀流道場主） — お麻（内儀）

いたみ
伊丹五郎兵衛（師範格）、和久田直勝（伊予松山藩家臣）

ひさむら
久村新左衛門（元流浪の剣士棟方 津軽ト伝流） — おりく（妻）

ひさむら
久村定次郎（下野国茂木藩江戸勤番）、久村佐之助（末弟）

ごいちろう
久村護一郎（茂木藩元締格） — お栄、おりく（娘 新左衛門の妻）

よねつかんべえ ひたち
米津寛兵衛（常陸鹿島 石見の亡き師）、こうきち
甲吉（下男）、あまぞう
雨蔵（老爺）

かじやま
梶山隆次郎（師範）、えどり
絵鳥修太朗（師範）、たねぞう
市橋種三（師範）

しんかんりゆう
奥山佐太夫（心貫流長老）

げんしち
源七（ととや）、つね（少女）

かねしち
伊吹屋金七（京橋の薬種問屋） — お玉（内儀）

はづき
葉月（娘）、佐一郎（息子）

のせそうじゅうろう
能勢惣十郎（亡き旗本） — おすが（妻）、こうたろう
康太郎（亡き息子）

ひろただ
達三郎博忠（養子 元長崎奉行日下部作十郎の三男）

くきかべ
久保寺三五郎（用人）、市村新吾（玄関番）

かよ
お佳世（奥女中 千風庵の娘）

よししたか
南郷伊豆守由高（駿河城代）、藤太郎（嫡男）

にへい
戸谷仁平（用人）

きちべえ あすか
大和屋吉兵衛（明日香の木地屋）

こうたろう
高太朗（息子 奈良の漆器屋） — お信、桜（長女）、梅（次女）

ぜ ぜしげた
膳所茂太（石見道場の師弟 坂本忠義の家臣）

だいじょうぼうしんがん
大条坊真巖（東大寺の大師）

かくざんぼういんふう
四世覚山坊胤風（興福寺院主）、しゆくぜん
夙膳（宝蔵院流師範）

はる えもんしげただ
小山田春右衛門重忠（柳生家陣屋家老）、えいきち
栄吉（密偵）

徳川吉宗（八代将軍 紀州藩主光貞の四男 生母は由利・浄 円院）

徳川継友（尾張藩主）、宗春（弟）

有馬兵庫守氏倫（御用取次）、加納近江守久通（御用取次）

柳生小助（尾張柳生）、お円（娘）、一太郎（息子）

柳生備前守俊方（将軍家剣術指南）

解々一膳坊（傀儡子） — かつらぎ（女房 警女）

戸田山城守忠真（老中）

黒田継高（福岡藩主）

志岐根右門（中老）、小佐野朔蔵道三（穴沢流）

五味対馬守義春（御目付評定番）

木下図書助（嫡子 元石見道場師範）、太郎丸、次郎丸、花

水野和泉守忠之（老中）

佐古神次郎右衛門（家老職）

佐々木治一郎（御側衆 長男）、次郎丸（次男）、三郎助（三男）

諏訪美濃守（北町奉行）

大岡越前守忠助（南町奉行）、織田朝七（内与力）

牧野勝五郎（与力）

時蔵（密偵）、多津（密偵）

西村桐十郎（北町同心→南町同心） — 野衣（妻）、晃太郎（息子）

花火の房之助（岡っ引） — 静香（女房 踊り手習い師匠）

信太郎（手先）、三児（手先）、猪之吉（手先）

熊吉（手先） — うめ（孫娘→女中）